

PRESS RELEASE

日本取引所グループ プレスリリース



株式会社日本取引所グループ
〒103-8224 東京都中央区日本橋兜町2番1号
Tel : 03-3666-1361 (代表)

JAPAN EXCHANGE GROUP, INC.
2-1, Nihombashi-Kabuto-cho, Chuo-ku,
Tokyo 103-8224, Japan
Tel : +81-3-3666-1361

URL: <http://www.jpx.co.jp/>

2017年1月30日

各位

株式会社東京証券取引所

第5回企業価値向上表彰の表彰会社の決定について

この度、「上場会社表彰選定委員会」（座長：一橋大学大学院・伊藤邦雄特任教授）による審議の結果を受け、本年度の企業価値向上表彰の表彰会社を決定しましたので、お知らせします。

1. 企業価値向上表彰の表彰会社について

(1) 大賞

会社名	証券コード	業種名	市場区分
花王株式会社	4452	化学	市場第一部

(2) 優秀賞

(証券コード順に記載)

会社名	証券コード	業種名	市場区分
明治ホールディングス株式会社	2269	食料品	市場第一部
株式会社スタートトゥデイ	3092	小売業	市場第一部
アステラス製薬株式会社	4503	医薬品	市場第一部

2. 表彰理由について

花王株式会社、明治ホールディングス株式会社、株式会社スタートトゥデイ及びアステラス製薬株式会社は、いずれも資本コストを上回る企業価値の創造を目指す「企業価値向上経営」を高いレベルで実践していると認められました。

その中でも、大賞を受賞した花王株式会社（以下「同社」といいます。）は、資本コストを上回る企業価値の創造額を表す経営指標である「EVA」を先駆的に導入し、これを様々な経営のプロセスで活用することで持続的な価値創造を実現しているなど、「企業価値向上経営」を特に高いレベルで実践していると認められました。

同社が特に優れていると評価されたポイントは以下のとおりです。

1. 企業価値創造を表す経営指標「EVA」を活用した経営の実践

資本コストを上回る企業価値の創造額を表す「EVA」を先駆的に導入し、その持続的な創造による企業価値の向上を目指して、下記に掲げる経営プロセスの中で活用するなど、企業価値向上を強く意識した経営を実践している。

(1) 経営目標の設定

EVA を重要な経営指標に掲げて年度ごとに目標を設定し実績を管理するほか、資本生産性を表す経営指標 (ROE) に自社の資本コストを大きく上回る高い水準の目標を設定。(同社が想定する資本コスト：5%程度、ROE 目標 (2030 年度)：20%)

(2) 経営判断の仕組み

事業の投資・撤退の判断基準に EVA を用いて、資本コストを上回る企業価値の創造が見込まれるか否かという視点に基づいた経営判断を実践。

(3) 役職員の動機付け

すべての役職員に業績連動報酬の仕組みを適用し、役員報酬についてはその評価基準に EVA を利用。

(4) 社内への意識の浸透

EVA の考え方やその改善ドライバーを研修等で丁寧に解説するほか、経営トップ自らが役職員に自社の経営理念や経営方針、EVA 向上の意義を語り掛けるなど、社内への企業価値創造の意識の浸透に注力。

2. 企業価値向上に向けた首尾一貫した姿勢

1999 年の EVA 導入から現在に至るまで、企業価値の向上を強く意識した経営を継続し、各年度の EVA の実績を指数化して、その推移をアニュアルレポートで公表し続けるなど、企業価値の向上を目指す姿勢を一貫して持ち続けている。

3. 企業価値向上の実現とその持続を見据えたステークホルダーへの還元

近年、ROE は上昇傾向にあり (10.7%、12.4%、14.8%)、企業価値向上の取組みの成果が着実に結実している。また、将来の価値向上の持続性を確かなものとするため、積極的な成長投資を行いつつ、株主や社員、顧客、社会といったステークホルダーへの還元にも注力している。

【本件に関するお問い合わせ先】

東京証券取引所 上場部内 上場会社表彰選定委員会事務局

電話 050-3377-7012 (直通)

【参考1】表彰会社選定の審議の視点について

表彰会社を選定するに当たって、上場会社表彰選定委員会が重視した点は以下のとおりです。

表彰会社選定に当たっての主な審議の観点
1. 経営計画及び経営戦略について －重視する経営目標に投資者視点を意識した企業価値向上の観点が含まれているか。
2. 財務戦略について －株主還元を含めた財務戦略に投資者視点が組み込まれているか。 －事業の投資判断等を行う際の判断基準に投資者視点が組み込まれているか。
3. 株主・投資者とのコミュニケーション態勢について －経営陣が株主や投資者に経営情報を公表することが望ましいという認識・意欲を持ち、実際に公表がなされているか。
4. 企業価値向上経営の推進について －投資者視点を意識した企業価値向上経営の必要性の認識や管理の枠組みについて、社内に対して浸透が図られているか。
5. 企業価値向上に向けた取組みとその成果について －上記1～4の取組みの結果として、実際に企業価値の増大が図られているか。

【参考2】企業価値向上表彰について

企業価値向上表彰は、資本コストをはじめとする投資者の視点を強く意識した経営を実践し、企業価値の向上を実現している上場会社を表彰する取り組みです。

本表彰の選定は、下表のプロセスに基づいて、有識者で構成される「上場会社表彰選定委員会」の審議により進められます。本表彰の概要や選定経過等については、特設ウェブサイト (<http://ps.nikkei.co.jp/tseaward2016/>) でもご紹介しています。

選定方法・選定プロセス
<p>1. スクリーニング（株主の期待に応えてきたか）</p> <p>約 3,500 社の全上場会社から、株主から見た投資リターンを表す ROE と、株主がその会社に期待している収益率を表す株主資本コストとを比較し、過去 3 年間に於いてその差であるエクイティ・スプレッドが大きい会社又は大きく成長している会社を 400 社抽出。</p>
<p>2. 一次選抜（企業価値の向上を意識し、実績を上げてきたか）</p> <p>A. 企業価値の向上を強く意識した経営を行ってきたか</p> <p>スクリーニングを通った 400 社に対してアンケートを行い、資本コストを認識しているか、経営計画と投資採択・撤退基準に反映しているかを尋ね、企業価値の向上を強く意識した経営を行ってきたことを確認。</p> <p>B. 実績として企業価値を大きく向上させてきたか</p> <p>アンケートで企業価値向上に対する明確な意識を確認できた会社の中から、実績として企業価値を向上させてきた会社として、直前事業年度の企業価値の増加額が大きい会社又は増加率が大きい会社を 50 社選抜。</p>
<p>3. 二次選抜（企業価値向上に対する意識と実績は関連しているか）</p> <p>一次選抜を通った 50 社に対してアンケートを行い、企業価値向上に対する強い意識を高い実績につなげるために、どのような経営上の規律付けや工夫を行っているかを確認。</p> <p>強い意識が、優れた規律付けや工夫を通じて、高い実績に結び付いていると認められる会社をファイナリストとして 4 社選抜。</p>
<p>4. 大賞会社の決定（他の上場会社にとって参考となるか）</p> <p>上場会社表彰選定委員によるファイナリストへのインタビューを通じてアンケートの回答内容について確認を行うとともに、内外の投資者からファイナリストに対する意見を募集。</p> <p>インタビューと意見募集の結果を踏まえ、他の上場会社にとって最も参考とするにふさわしい会社を大賞会社に選出。</p> <p>⇒ 大賞会社として会社名と選考理由を公表。【本日の発表内容】</p>